

# 墨田区×スタートアップ×ものづくり企業・区内大学による プロトタイプ実証実験支援事業の説明

2023年5月9日

事務局：墨田区産業観光部産業振興課

事業プロモーター：デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社

# 1. 事業内容

# 1. 事業内容（1）背景・目的：手引き3ページ

## 背景

- 墨田区は、内閣府に選定された「SDGs未来都市」として、「**産業振興を軸としたプロトタイプ実装都市**」をコンセプトに、スタートアップ企業と区内企業・大学との連携によるプロトタイプ開発を目指しています

### 「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」概要

#### 産業振興を軸としたプロトタイプ実装都市 ～ものづくりによる「暮らし」のアップデート～

- ・スタートアップ企業と区内企業との連携によるプロトタイプ開発
- ・社会実験としての地域実装
- ・開発から実装までのプロセスにおける地域と企業とのコミュニケーション促進



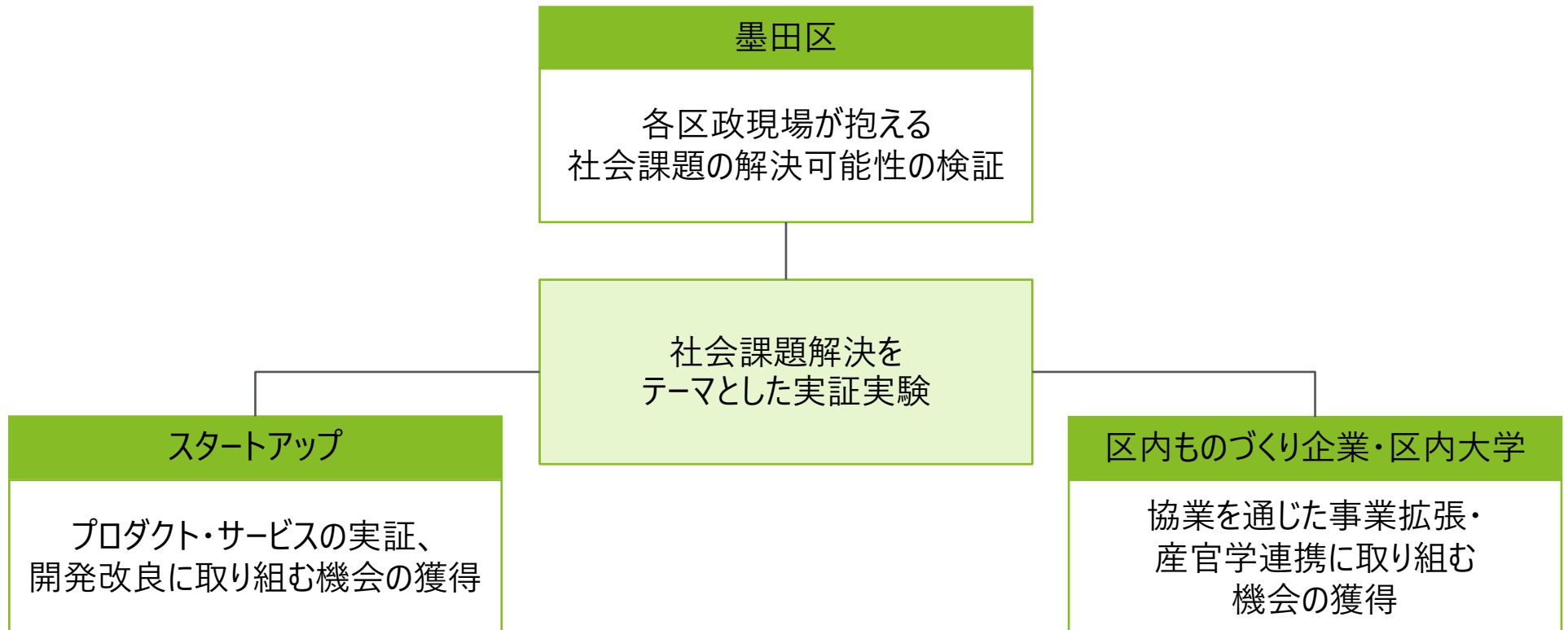
- ・社会課題解決と地域内経済循環の促進
- ・持続可能なまちの実現



# 1. 事業内容（1）背景・目的：手引き3ページ

## 目的

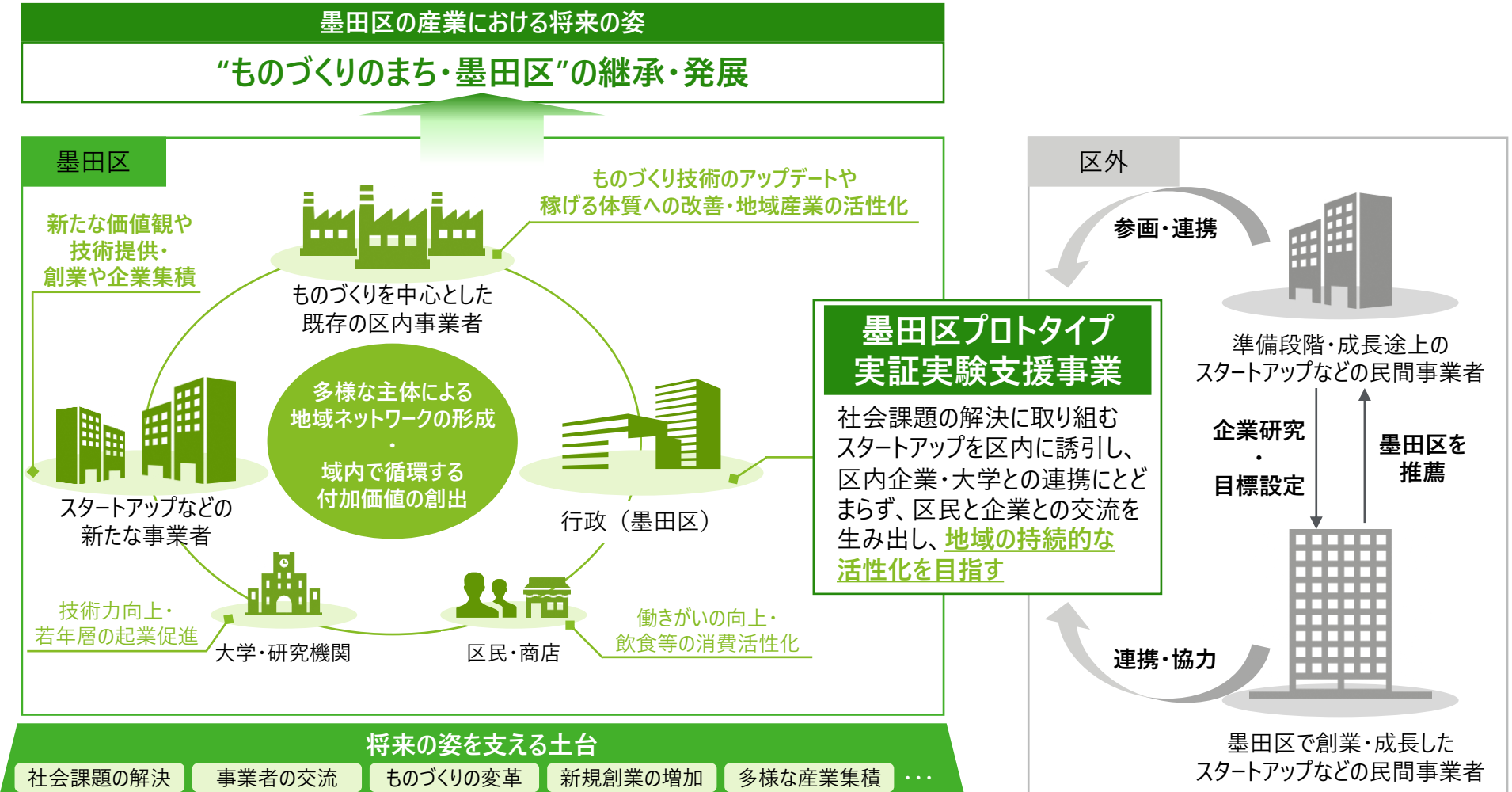
- スタートアップが有する先端的な技術・サービスや社会的価値観と、区政現場が抱える社会課題とのマッチング、区内ものづくり企業・区内大学と協業したオープンイノベーションを通じて、社会課題解決と地域社会・経済の発展に繋げることが目的です



# 1. 事業内容（1）背景・目的：補足

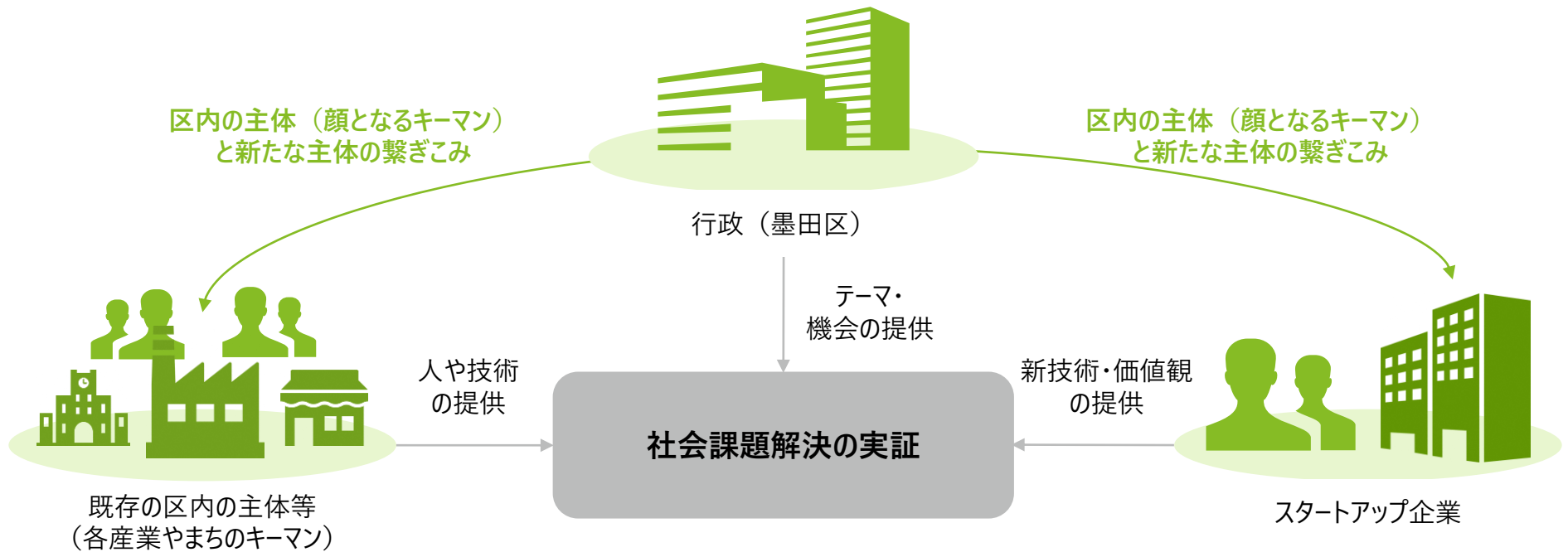
## 本事業の位置付け

- 墨田区の地域産業の活性化に向けて、スタートアップを区内に誘引し、区内のものづくり企業や区内大学と繋ぐことで地域ネットワークを強化する産業振興政策の1つの事業です



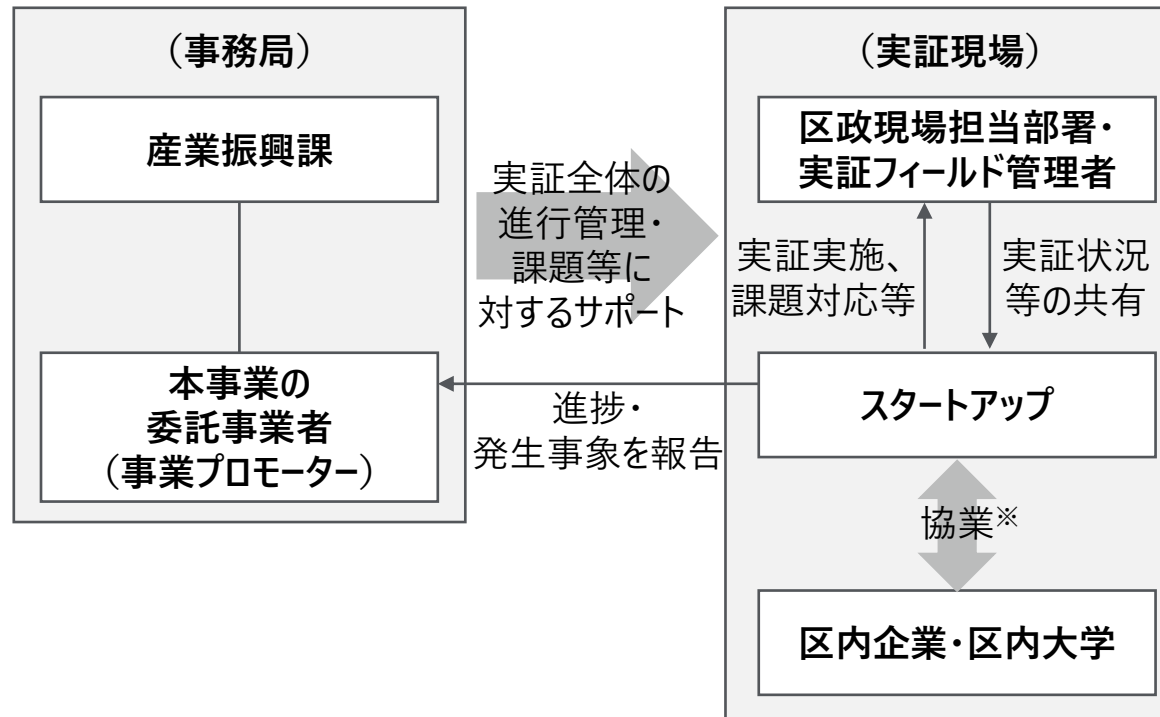
# 1. 事業内容（2）本事業の特徴：手引き3～4ページ

- 墨田区には多種多様な業種・人材が集積されており、人と人の深い繋がりによって、さまざまな課題の解決に取り組む地域ネットワークがあり、その特性を活かした「**地域ネットワーク活用型**」の**社会課題解決**を図ることが本事業の特徴です



# 1. 事業内容（3）実施体制：手引き4ページ

- 事業プロモーターの支援のもと、社会課題を抱える実証フィールドである**区政現場と採択スタートアップ**が連携して**実証実験を実施**します



※「プロトタイプ開発・改良パターン」「大学協業パターン」において想定

# 1. 事業内容（4）本事業の支援メニュー：手引き5～7ページ

- 採択スタートアップへの実証実験を円滑に進めるため、「社会課題解決の実証が行える環境」「実証をサポートする地域ネットワーク」「次年度以降の実証・実装展開に向けた支援」を支援メニューとして提供します





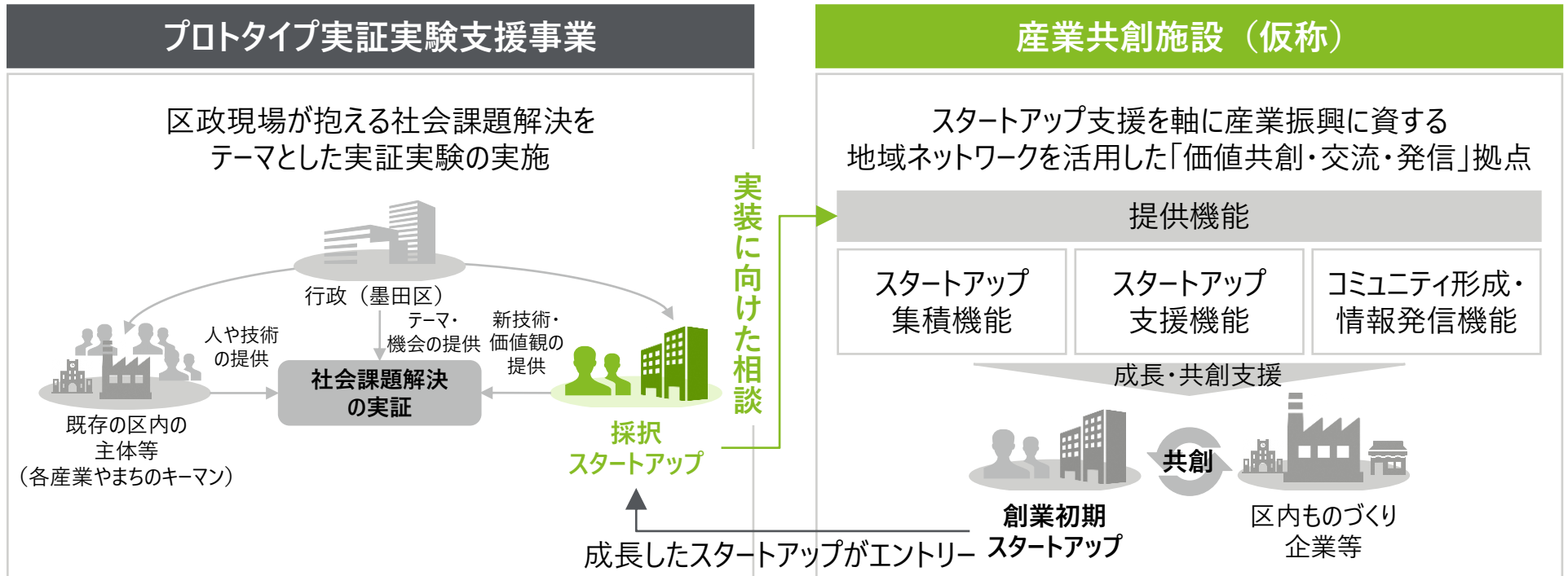
# 1. 事業内容（4）本事業の支援メニュー：補足

■昨年度の本事業の課題や目指す方向性を踏まえて、実証パターン・応募枠・支援メニューなど  
**本事業全体をアップデート**しています

		令和4年度	令和5年度	
1.	実証パターン	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロトタイプ導入パターン</li> <li>プロトタイプ開発・改良パターン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロトタイプ導入パターン</li> <li>プロトタイプ開発・改良パターン</li> <li><b>大学協業パターン</b></li> </ul>	
2.	応募枠	<ul style="list-style-type: none"> <li>応募枠の既定なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般枠：スタートアップ等を対象</li> <li><b>区内学生枠：区内大学に在学の学生スタートアップ等を対象</b></li> </ul>	
3.	支援メニュー	①社会課題解決の実証が行える環境の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>区政現場とのマッチング</li> <li>実証開始に向けた調整支援</li> <li>実証実験の実施協力</li> <li>実証支援金による支援（200万円）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区政現場とのマッチング</li> <li>実証開始に向けた調整支援</li> <li>実証実験の実施協力</li> <li>実証支援金による支援（<b>200～250万円</b>）</li> </ul>
		②実証をサポートする地域ネットワークの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内企業との協業支援</li> <li>区内リレーションの活用支援</li> <li>ビジネス関係者とのマッチング支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内企業・<b>区内大学</b>との協業支援</li> <li>区内リレーションの活用支援</li> <li>ビジネス関係者とのマッチング支援・<b>ビジネス相談（産業共創施設との連携）</b></li> </ul>
		③次年度以降の実証・実装展開に向けた支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証実験の継続支援（原則、半年間の実証期間）</li> <li>採択スタートアップのプロモーション支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証実験の継続支援（<b>最大1年半の実証期間</b>）</li> <li>採択スタートアップのプロモーション支援</li> </ul>

# 1. 事業内容（4）本事業の支援メニュー：補足

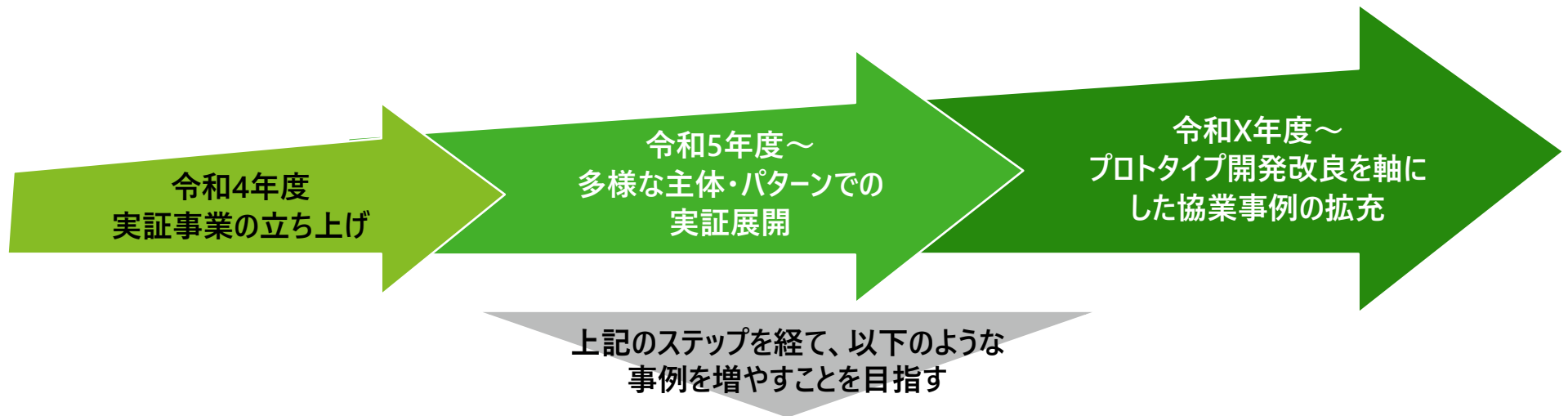
■令和5年10月に錦糸町エリアに開設予定の「産業共創施設（仮称）」との連携を予定しています



- ・ 鉄骨造・地上7階
- ・ 延床面積：約7,085㎡（4階の産業共創施設は約850㎡）
- ・ 管理者：ヒューリック株式会社
- ・ 1～3階は株式会社アストロスケールが入居

# 1. 事業内容（一）今後のステップ：補足

■本事業は少なくとも**5年間の継続を想定**しており、モデルケースの拡大を図りながら、社会課題解決を通じて、スタートアップと区内企業・区内大学の**協業やプロトタイプ開発・改良の事例を増やす**ことを目指しています



## 区内企業の事業拡張・転換

- 本事業を通じて事業拡張・転換に取り組み始めた区内企業の増加

## 区外からのスタートアップ企業等の誘引

- 本事業に参加する主体の属性・パターンや、区外から本事業に参加する主体の増加

## 区内企業・区内大学と 多様な主体の連携

- スタートアップをはじめとする各主体と区内企業・区内大学との協業による実証、開発・改良されたプロトタイプの増加

## 2. 実証実験及び公募の内容

## 2. 実証内容（一）概要

- 応募資格に応じて、応募枠を一般枠と区内学生枠に分けて、各枠で公募・審査を行います  
 なお、応募の際に選択する実証パターンと審査の評価基準は共通です

	一般枠	区内学生枠			
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業基本法に定める中小企業者など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業基本法に定める中小企業者など</li> <li>代表者が墨田区内の大学に在学中</li> </ul>			
公募方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>枠数：公募5件の内、4件</li> <li>実証テーマ：具体的な実証テーマに対する公募</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>枠数：公募5件の内、1件</li> <li>実証テーマ：社会課題に資するフリー形式の公募</li> </ul>			
	実証パターン <table border="1" style="margin: auto; width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">プロトタイプ 導入パターン</td> <td style="text-align: center;">プロトタイプ 開発・改良パターン</td> <td style="text-align: center;">大学協業パターン</td> </tr> </table>			プロトタイプ 導入パターン	プロトタイプ 開発・改良パターン
プロトタイプ 導入パターン	プロトタイプ 開発・改良パターン	大学協業パターン			
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般枠内で「一次審査」「二次審査」を実施し、実証テーマごとに採択（最大4件採択）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内学生枠内で「一次審査」「二次審査」を実施し、全応募者の中から採択（最大1件採択）</li> </ul>			
	評価基準 <table border="1" style="margin: auto; width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">①実証実験の 実現性</td> <td style="text-align: center;">②社会課題解決 への寄与</td> <td style="text-align: center;">③区内企業・区内 大学との連携効果</td> </tr> </table>			①実証実験の 実現性	②社会課題解決 への寄与
①実証実験の 実現性	②社会課題解決 への寄与	③区内企業・区内 大学との連携効果			

## 2. 実証内容（1）実証パターン：手引き8ページ

- スタートアップ企業と区内のものづくり企業・区内大学との協業を促進するため、「**プロトタイプ開発・改良パターン**」「**大学協業パターン**」での参加を重視しています

### パターン①：プロトタイプ導入パターン

スタートアップが有する既存の製品・サービス等の導入による実証実験事業

### パターン②：プロトタイプ開発・改良パターン

スタートアップが区内の**ものづくり企業との協業**により既存製品の改良又は新たな製品の開発を伴う実証実験事業

### パターン③：大学協業パターン

スタートアップが**大学・研究機関との協業**により行う実証実験事業

## 1. 事業内容（4）本事業の支援メニュー（実証費用）：手引き5ページ

■1実証あたり**200万円～250万円（税込）**を上限に、実証実験の実施費用を区が補助金として交付します

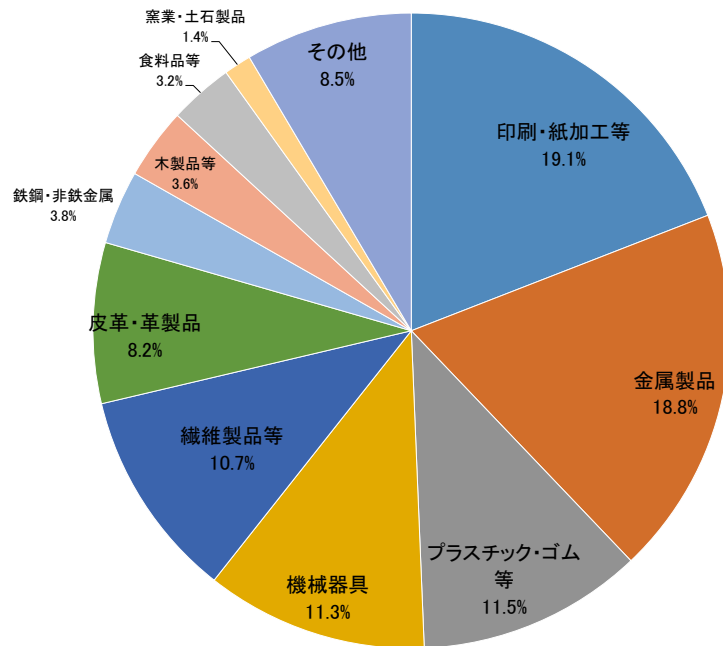
No.	補助対象パターン	補助率	上限額
1	プロトタイプ導入パターン	補助対象経費の 10分の10	1件当たりの補助金の額は当該年度の予算に定める額の範囲内で <b>200万円</b> を限度とする
2	プロトタイプ開発・改良パターン		1件当たりの補助金の額は当該年度の予算に定める額の範囲内で <b>250万円</b> を限度とする
3	大学協業パターン		

## 2. 実証内容（4）各パターンにおける区内企業・区内大学との協業：手引き15～16ページ

### ②プロトタイプ開発・改良パターン

- 墨田区には**多種多様な製造業・加工業**が存在し、特に印刷・紙加工等や金属製品を取り扱う工場が多く存在しています

【参考：墨田区における工場数の業種別構成比】



総務省統計局・経済産業省「平成28年経済センサス活動調査」（2017）より作成

### ③大学協業パターン

- 墨田区には**産学連携を推進している大学**が複数存在しています

大学名	概要
千葉大学	墨田区内にサテライトキャンパス(dri)を有しており、イノベーションの創出、地域・産業の活性化に寄与することを目的に設立された「学術研究・イノベーション推進機構（IMO）」を中心に産学連携を推進している
iU 情報経営イノベーション専門職大学	イノベーション人材を育成する教育機関であり、連携企業や客員教員などと産学連携プロジェクト等を通じて社会との接点を多数設けている



## 2. 実証内容（2）実証の応募枠：手引き8ページ

- 一般枠では**具体的な実証テーマに対する**応募、区内学生枠では**ジャンルや領域は問わず**応募を受け付けます

	一般枠	区内学生枠
応募資格	<ul style="list-style-type: none"><li>• 中小企業基本法に定める中小企業者など<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 中小企業者（個人を除く）</li><li>✓ 一般社団法人・一般財団法人</li><li>✓ 特定非営利活動法人</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 中小企業基本法に定める中小企業者など<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 中小企業者（個人を除く）</li><li>✓ 一般社団法人・一般財団法人</li><li>✓ 特定非営利活動法人</li></ul></li><li>• 代表者が、墨田区内に本部またはサテライトオフィスを設置している大学に在学中</li></ul>
実証テーマ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 墨田区の区政現場が抱える具体的な課題に対して解決策等の提案を行う</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 社会課題解決に資する実証テーマであれば、ジャンルや領域は問わないフリーでの提案を行う</li></ul>
採択件数	<ul style="list-style-type: none"><li>• 公募5件の内、最大4件</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 公募5件の内、最大1件</li></ul>

## 2. 実証内容（3）実証テーマ：手引き9～14ページ

■一般枠では、「スポーツ」「文化」「防災」「福祉」に関する4つの実証テーマについて募集します

### 一般枠の実証テーマ

No.	課題テーマ	実証テーマ	所管
1	スポーツの振興	エンタメやニュースポーツ等の活用によるユニバーサルなスポーツ環境の推進	スポーツ振興課
2	文化の振興	音声アトラクション等の活用による「すみだ北斎美術館」のインバウンド推進	文化芸術振興課
3	防災機能の強化	XRプラットフォーム等の活用による防災行動力向上	防災課
4	地域福祉の充実	マッチングサービス等の活用による要配慮者に対する救護体制の充実	障害者福祉課

## 2. 実証内容（3）実証テーマ：手引き9～10ページ

### 課題テーマNo.1：エンタメやニュースポーツ等の活用によるユニバーサルなスポーツ環境の推進

課題テーマ	スポーツの振興
所管	地域力支援部スポーツ振興課
実証フィールド	墨田区内の多世代が集まる空間（公共施設、民間商業施設、教育機関等）
課題と想定する 実証内容	<ul style="list-style-type: none"><li>• 社会課題： 多世代・多様な属性の方々へのパラスポーツのアプローチに至っていない 誰でも身近な場所で気軽に継続的に運動に取り組めるユニバーサルな環境づくり</li><li>• 実証内容：エンターテインメントサービスとスポーツを掛け合わせた新感覚コンテンツや、 ニュースポーツを活用した場づくり</li><li>• 検証内容・期待効果：多世代・多様な属性の方々と一緒にスポーツを楽しめる ユニバーサルなスポーツ環境の推進に資する可能性を検証するため、新たな属性の参加者 数・割合、参加者の意識変化等を分析</li></ul>
実証の意義	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本実証を通じて、エンタメ・ニュースポーツ×スポーツ振興というユースケースの創出と、 実証後の墨田区でのサービスの活用・展開を期待</li></ul>
実証要件	<ul style="list-style-type: none"><li>• 実証フィールドの選定は、墨田区と調整のうえ実施</li></ul>

## 2. 実証内容（3）実証テーマ：手引き10～11ページ

### 課題テーマNo.2：音声アトラクション等の活用による「すみだ北斎美術館」のインバウンド推進

課題テーマ	文化の振興
所管	地域力支援部文化芸術振興課
実証フィールド	すみだ北斎美術館
課題と想定する 実証内容	<ul style="list-style-type: none"><li>• 社会課題：本全体で観光需要の回復に向けた動きとして観光事業の再始動が進みはじめているなか、「すみだ北斎美術館」におけるインバウンド需要の回復</li><li>• 実証内容：北斎の魅力や世界観を音・映像・多言語を活用して、より臨場感をもって伝えることのできる新感覚の音声アトラクション等を外国人向けコンテンツとして導入</li><li>• 検証内容・期待効果：「すみだ北斎美術館」のインバウンド推進に資する可能性を検証するため、外国人の来館割合、来館者の満足度や継続的な来館意向の変化等を分析</li></ul>
実証の意義	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本実証を通じて、日本有数の美術館×観光振興というユースケースの創出と、実証後の墨田区でのサービスの活用・展開を期待</li></ul>
実証要件	<ul style="list-style-type: none"><li>• すみだ北斎美術館を実証フィールドとすることを前提</li></ul>

## 2. 実証内容（3）実証テーマ：手引き1 1～1 2ページ

### 課題テーマNo. 3：XRプラットフォーム等の活用による防災行動力向上

課題テーマ	防災機能の強化
所管	都市計画部危機管理担当防災課
実証フィールド	墨田区総合防災訓練
課題と想定する 実証内容	<ul style="list-style-type: none"><li>社会課題：防災行動力を高めるためのより効果的な訓練の実施や、多くの区民が防災に関心を有して行動に移す行動変容の促進</li><li>実証内容：XRプラットフォーム等を活用した新たな防災訓練コンテンツを地域団体等と連携して開発し、多くの区民、防災関係機関等が参加する墨田区総合防災訓練を実証フィールドとして活用</li><li>検証内容・期待効果：新たな訓練参加者の掘り起こしや区民の防災行動力向上に資する可能性を検証</li></ul>
実証の意義	<ul style="list-style-type: none"><li>自助や地域での共助の推進は全国約1,700自治体の共通課題である中、本実証を通じて、新たな防災行動力向上の先駆的な事例づくりを期待</li></ul>
実証要件	<ul style="list-style-type: none"><li>墨田区総合防災訓練（例年11月開催）を実証フィールドとすることを前提</li></ul>

## 2. 実証内容（3）実証テーマ：手引き12～13ページ

### 課題テーマNo.4：マッチングサービス等の活用による要配慮者に対する救護体制の充実

課題テーマ	地域福祉の充実
所管	福祉保健部障害者福祉課
実証フィールド	墨田区内の避難ルート（街をフィールドとした実証）
課題と想定する実証内容	<ul style="list-style-type: none"><li>社会課題：令和5年度に重度の障害を抱える方を対象に作成予定の「要配慮者個別避難支援プラン」における要配慮一人一人の避難行動に繋がる実効性を担保</li><li>実証内容：支援が必要な要配慮者と、要配慮者の避難行動を支援することができる地域の企業・団体等をマッチングできるサービスを活用し、避難を行う際のマッチング先の確保や「要配慮者個別避難支援プラン」の実効性を高める</li><li>検証内容・期待効果：要配慮者に対する救護体制の充実に資する可能性を検証するため、避難行動の実効性や要配慮者の意識変化を分析</li></ul>
実証の意義	<ul style="list-style-type: none"><li>本実証を通じて、地域を活用した障害者の有事の支援体制のユースケースの創出と、実証後の墨田区でのサービスの活用・展開を期待</li></ul>
実証要件	<ul style="list-style-type: none"><li>「要配慮者個別避難支援プラン」に併せて、墨田区が実証フィールド・ルートを調整</li><li>実証の支援者として想定している民間企業・団体等は墨田区のリレーション活用を想定（応募スタートアップが有しているリレーションを活用しての提案も可能）</li></ul>

## 2. 実証内容（3）実証テーマ：手引き14ページ

- 区内学生枠では、社会課題解決に資する実証テーマであれば、ジャンルや領域は問わないフリーでの提案となります

---

### 区内学生枠の実証テーマ

---

- 一般枠とは異なり、具体的な課題・実証テーマに対する提案ではなく、応募スタートアップ自身取り組みたいと考える課題・実証テーマと解決策の提案を行う
- 社会課題解決に資する実証テーマであれば、ジャンルや領域は問わないフリーでの提案

## 2. 実証内容（5）役割分担：手引き16～17ページ

■採択スタートアップは、**実証実験の実施主体**として、実証実験の実施に向け、実証プランの検討、プロダクトサービスの準備、進捗管理を実施していただきます

	採択スタートアップ	事業プロモーター
申請	<ul style="list-style-type: none"><li>申請資料の作成</li><li>プレゼンによる説明（二次審査）</li></ul>	—
実証準備	<ul style="list-style-type: none"><li>実証プランの調整</li><li>実証に必要なプロダクト・サービスの提供準備</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>関係者調整、実証プランの設計支援</li></ul>
実証実施	<ul style="list-style-type: none"><li>実証実験の実施</li><li>実証の進捗報告</li><li>実証の進捗管理</li><li>効果測定・分析</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>実証の進捗管理</li><li>関係者調整（課題発生時等の調整）</li><li>最終報告のとりまとめ</li></ul>



## 2. 実証内容（6）実証スケジュール：手引き17ページ

- 6月に採択された後、7月～3月末の期間で実証実験を実施します



### 3. 申請内容（1）申請資格：手引き18ページ

■申請の対象者は、次に掲げる**全ての事項を満たすことが必要**です

- (1) 法人格を有する団体で、次のいずれかに該当するもの
  - ア **中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第1項に規定する中小企業者（個人を除く。）**
  - イ 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）に定める一般社団法人及び一般財団法人
  - ウ 特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）第2条第2項に規定する特定非営利活動法人
- (2) 実証実験事業の実施能力を有する者
- (3) 法人事業税及び法人住民税を滞納していない者
- (4) 次の（ア）～（ク）に該当しない者
  - （ア）墨田区暴力団排除条例（平成24年墨田区条例第37号）第2条第1号に規定する暴力団である団体又は代表者若しくは団体の構成員が同条第2号に規定する暴力団員若しくは同条第3号に規定する暴力団関係者である者
  - （イ）心身の故障により実証実験事業を適正に行うことができない者として区長が別に定める者
  - （ウ）破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
  - （エ）代表者が禁錮以上の刑に処せられ、執行終了日又は執行を受けることがなくなった日から2年未満の者
  - （オ）会社法（平成17年法律第86号）第475条若しくは第644条の規定による清算の開始又は破産法（平成16年法律第75号）第18条第1項若しくは第19条第1項の規定による破産手続開始の申立てがなされている者
  - （カ）会社更生法（平成14年法律第154号）第17条の規定による更生手続開始の申立て又は民事再生法（平成11年法律第225号）第21条の規定による再生手続開始の申立てがなされている者
  - （キ）政治活動又は宗教活動を主目的とする団体
  - （ク）その他資格審査において不相当であると区長が認める者

### 3. 申請内容（2）申請の考え方：手引き18～19ページ

■申請の対象者は、次に掲げる**考え方**に則り申請してください

#### ①複数の申請について

- **複数の実証テーマに申請可能**
- 但し、複数申請をした場合でも、**採択される実証テーマは1つのみ**  
※複数申請の場合は実証テーマごとに申請書を作成の上、志望順位を記載

#### ②実証パターンについて

- 「プロトタイプ導入パターン」「プロトタイプ開発・改良パターン」「大学協業パターン」の**いずれのパターンでも申請可能**  
(応募スタートアップが選択)

#### ③実証期間について

- 今年度は令和5年度内（令和6年3月末まで）で実証から効果測定までを実施実証実験の効果をさらに高めていくため、令和5年度の実証実験のあり方を発展させた**令和6年度の実証実験の計画・見通しを踏まえた申請も可能**  
※ただし、現時点で継続での実証を確約するものではありません

### 3. 申請内容（3）申請書類・申請方法：手引き19～21ページ

### 4. 選定審査・選定の方法（1）スケジュール：手引き22ページ

■スケジュールに則り手続きいただき、特に**申請申込、申請資料提出の期日にご注意**ください

プロセス	提出期日・実施日	提出書類等
申請申込	令和5年5月17日(水) 17時まで	ア 申請申込 イ 質問票 ウ 区への調整希望票
質問票提出		
区への調整希望票提出		
申請資料提出	令和5年5月26日(金) 17時まで	エ 墨田区プロトタイプ実証実験支援事業費補助金交付申請書 (第1号様式) オ 実証実験事業計画書(第1号様式別紙1) カ 実証実験事業収支計画書(第1号様式別紙2) キ 誓約書(第2号様式)
一次審査結果通知	令和5年6月上旬	-
法人関係書類提出	令和5年6月16日(金) 16時まで	ク 定款及び登記事項証明書又はこれらに準ずる書類 ケ 法人事業税及び法人住民税の納税証明書(直近1期分) コ 税未納理由申立書(第3号様式) ※ケが提出できない場合
二次審査 (プレゼン・質疑応答)	令和5年6月21日(水) (予定)	-
結果通知	令和5年6月下旬	-

### 3. 申請内容（3）申請書類・申請方法：手引き2 1 ページ

- 応募企画書にあたる「実証実験事業計画書」は20ページ程度のフリーフォーマットです  
記載項目は評価基準に則っていますので、**評価基準を考慮して作成**ください

#### 実証実験事業計画書

##### 記載項目 (概要)

- 事業名、実証テーマ、実証パターン
- 企業概要、担当者情報
- 社会課題解決への寄与
  - 社会課題解決への意欲
  - 墨田区における社会課題解決の見込み
  - 墨田区以外への水平展開・波及効果の見込み
- 実証実験の実現性
  - 実証実験の目的、内容、実証実験を通じて得たい成果・検証の方法
  - 実施体制（責任者・担当者・人数等）
  - スケジュール、計画・見通し展望（目標、新たな展開性、スケジュール等）
- 業務実績
- 区内企業・区内大学との連携効果 ※区内企業や大学との連携・協業を行う場合のみ
  - 区内企業・区内大学との連携方法
  - 協業による区内企業・区内大学への期待効果

## 4. 選定審査・選定の方法（2）選定方法：手引き22～23ページ

### ■一次審査・二次審査ともに**一般枠と区内学生枠を分けて実施**します

	一般枠	区内学生枠
一次 審査	提出された応募書類に対して、本事業の所管である産業振興課及び各実証事業の所管による書類審査を実施	
	<ul style="list-style-type: none"><li>一般枠内で、一次審査（書類）を実施</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>区内学生枠内で、一次審査（書類）を実施</li></ul>
二次 審査	応募スタートアップによるプレゼンテーション及び審査委員による質疑応答の内容に対して、審査による総合評価を実施	
	<ul style="list-style-type: none"><li>一般枠内で、二次審査（プレゼン）を実施し、実証テーマごとに採択（最大4件採択）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>区内学生枠内で、二次審査（プレゼン）を実施し、全応募者の中から採択（最大1件採択）</li></ul>

## 4. 選定審査・選定の方法 (3) 評価基準：手引き23～24ページ

■事業目的に沿った3つの評価観点を設定しており、「プロトタイプ開発・改良パターン」「大学協業パターン」での応募時には、「③区内企業・区内大学等との連携効果」を**加点項目として評価**します

評価基準	
①実証実験の実現性	• 実証フィールドとして想定している区政現場で受入れ可能な実証内容であるか
	• 実証フローや事業スキームが明確にされているなど、具体的な実証内容が検討されているか
	• 定量・定性的な指標が設定されており、明確な成果が得られる実証であるか
②社会課題解決への寄与	• 経営層として社会課題解決に対する課題意識及び解決意欲を有しているか
	• 墨田区における社会課題の解決に資するソリューション及び事業の展開が見込めるか
	• 墨田区以外における社会課題の解決に繋がる水平展開・波及効果が見込めるか
③区内企業・区内大学等との連携効果	• 区内のものづくり企業・区内大学等との連携の実現が期待できる内容であるか
	• 区内のものづくり企業・区内大学等への利益効果や裨益が期待できる内容であるか

必須項目  
(ベース評価)  
配点比率：  
75%

加点項目  
配点比率：  
25%

## 4. 選定審査・選定の方法（4）実証実験の継続に関する審査・選定：手引き24ページ

■既に区内で一定の成果を挙げている実証実験については、**実証実験の継続を申請**できます

継続申請の条件	<ul style="list-style-type: none"><li>既に<b>区内で実施しており、一定の成果を挙げている</b>実証実験であること</li></ul>
審査の方法	<ul style="list-style-type: none"><li>令和5年度の実証実験の<b>あり方を発展</b>させた令和6年度の実証実験の計画・見通しがあり、<b>効果性・継続性が見込まれる</b>実証実験として成立しているかを<b>書類審査にて評価</b></li></ul>
申請スケジュール	<ul style="list-style-type: none"><li>申請資料提出期間：令和6年3月1日(金)から令和6年6月28日(金)17時まで</li><li>審査結果通知：提出タイミングに応じて、順次通知</li></ul>



## 6. 本事業の問い合わせ先：手引き26ページ

## 7. 事業プロモーターの企業情報：手引き26ページ

- 事業プロモーター：デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
- メールアドレス：[innovation-sumida@tohmatsumatsu.co.jp](mailto:innovation-sumida@tohmatsumatsu.co.jp)

社名	デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 (英文表記 Deloitte Tohmatsu Consulting LLC)
設立	1993年4月
資本金	500百万円
本社所在地	東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビルディング
事業内容	さまざまな業界・業種ごとの専門的知識とプロジェクト経験をもつインダストリーサービスと、組織、機能、目的に対応し、特有の課題を解決するコンピテンシーサービスの2つの軸のプロフェッショナルがチームを組み、コンサルティングサービスを展開しております。また、グローバルに事業展開するクライアントをサポートする体制を有しています。
URL	<a href="https://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/about-deloitte/articles/dtc/dtc.html">https://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/about-deloitte/articles/dtc/dtc.html</a>